



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 セイコーグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	254,116	9.3	28,959	39.2	30,803	48.2	20,537	58.8
2025年3月期第3四半期	232,514	13.1	20,798	47.1	20,784	35.7	12,935	21.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 23,430百万円(-22.3%) 2025年3月期第3四半期 19,162百万円(-14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	502.58	—	—
2025年3月期第3四半期	316.88	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
			百万円	%
2026年3月期第3四半期	397,182	176,053	43.9	
2025年3月期	369,236	158,014	42.2	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 174,245百万円 2025年3月期 155,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	60.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	328,000	7.6	29,000	36.5	30,500	46.8	20,000	50.2	489.41	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一 社 (社名) 一 、除外 一 社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	41,404,261株	2025年3月期	41,404,261株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	533,115株	2025年3月期	559,410株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	40,863,917株	2025年3月期3Q	40,820,139株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～12月31日）における日本経済は、輸出などで一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復傾向にあります。またインバウンド需要は、中国人観光客が減少したものの欧米や東南アジア等の観光客を中心に堅調に推移しました。

海外経済は、米国で底堅い成長が続くほか、欧州はインフレ鈍化などにより緩やかな回復傾向にあります。中国は、内需の減速などで持ち直しが鈍化しており、不動産市況は引き続き懸念材料です。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 累計期間(a)	2025年3月期 第3四半期 累計期間(b)	2026年3月期 第3四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①-(a)	前年同期 増減 ①-(b)
売上高	205,672	232,514	254,116	48,443	21,602
営業利益	14,143	20,798	28,959	14,816	8,161
%	6.9%	8.9%	11.4%	4.5pt	2.5pt
経常利益	15,321	20,784	30,803	15,482	10,019
%	7.4%	8.9%	12.1%	4.7pt	3.2pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,643	12,935	20,537	9,893	7,602
%	5.2%	5.6%	8.1%	2.9pt	2.5pt
換算レート					
USD (円)	143.3	152.6	148.7	5.4	△3.9
EUR (円)	155.3	164.9	171.8	16.5	7.0

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウォッチ事業、和光事業が、堅調な個人消費やインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウォッチ事業もグローバルブランドを中心に伸長して、売上高は前年同期を大きく上回りました。デバイスソリューション事業の売上高も前年同期を上回り、引き続き回復傾向にあります。システムソリューション事業は、多角化やストックビジネス拡大への取組みを継続し、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,541億円（前年同期比9.3%増）となりました。

連結全体の国内売上高は1,311億円（同5.3%増）、海外売上高は1,229億円（同13.9%増）となり、海外売上高割合は48.4%でした。

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、広告宣伝販促費が前年同期に対して約10%増加したことなどにより、896億円（同5.2%増）となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業とデバイスソリューション事業が大きく伸ばし、システムソリューション事業も増益となったことから、前年同期から81億円増加の289億円（同39.2%増）となりました。営業外収支は、為替差益の計上などにより前年同期から改善し、経常利益は前年同期を100億円上回る308億円（同48.2%増）となりました。特別損益は、特別利益として固定資産売却益5億円、特別損失として、減損損失および事業構造改善費用を合わせて11億円計上しております。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業の収益改善に伴い法人税等が増加したことなどにより、前年同期から76億円増加の205億円（同58.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル148.7円、1ユーロ171.8円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、セイコータイムクリエーション㈱のクロック販売事業をセイコーウオッチ㈱に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション㈱を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャクリエーション㈱を「その他」に変更しております。

① エモーショナルバリューソリューション事業 (EVS事業)

EVS事業の売上高は前年同期比136億円増加の1,697億円（前年同期比8.7%増）となりました。

ウォッチは、「グランドセイコー」が国内・海外ともに第3四半期で大幅に伸長し、累計でも前年同期から増収となりました。またセイコーグローバルブランドは、海外では「セイコープロスペックス」、「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」が牽引し、継続して大幅に伸長しました。国内においても第3四半期で大きく回復し、累計でも前年同期から増収となりました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスについても堅調に推移し、売上高は前年同期から増加し、和光事業もウォッチを中心に堅調に推移しました。

営業利益は、前年同期から52億円増加し271億円（同23.7%増）となりました。

② デバイスソリューション事業 (DS事業)

DS事業は売上高481億円（前年同期比9.4%増）、営業利益30億円（同74.6%増）となりました。

小型電池は、医療向け酸化銀電池を中心に売上高を大きく伸ばし、またインクジェットヘッドも用途拡大等で前年同期から売上高が増加したことなどから、デバイスソリューション事業は前年同期から増収増益となりました。なお、収益力の低下した事業における事業用資産について、減損損失9億円を計上しております。

③ システムソリューション事業 (SS事業)

SS事業の売上高414億円（前年同期比9.3%増）、営業利益は37億円（同17.3%増）となりました。

前年度から引き続きITインフラ関連が堅調に推移し、セキュリティ関連ビジネスも大手顧客向けの更新需要もあり拡大したほか、外食チェーン向けオーダーエントリーシステムやタクシー業界向け決済関連ビジネスも伸長しました。また第2四半期連結会計期間に行ったM&Aも収益に貢献したことなどから、セイコーソリューションズ㈱の事業は39四半期連続で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,971億円となり、前年度末に比べて279億円増加しました。流動資産では、現金及び預金が156億円、受取手形、売掛金及び契約資産が98億円、棚卸資産が18億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より276億円増加し2,017億円となりました。固定資産では、有形固定資産が5億円、無形固定資産が18億円増加した一方で、投資その他の資産が21億円減少したことなどから、固定資産合計は前年度末と比べ3億円増加の1,953億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が16億円減少、長期借入金（「1年内返済予定の長期借入金」を含む）が1億円増加し、借入金合計は1,060億円となりました。また、支払手形及び買掛金が74億円、電子記録債務が13億円増加したことなどから、負債合計は前年度末と比べ、99億円増加の2,211億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が156億円、為替換算調整勘定が57億円増加した一方で、その他有価証券評価差額金は29億円減少したことなどから、合計では前年度末と比べ180億円増加の1,760億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

EVS事業が前回予想以上に好調に推移していることから、連結業績予想を上方修正いたします。なお、DS事業とSS事業も見通しを変更し、通期セグメント別業績予想については下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年11月11日)	百万円 318,000	百万円 24,500	百万円 24,500	百万円 16,000	円 錢 391.53
今回修正予想(B)	328,000	29,000	30,500	20,000	489.41
増減額(B-A)	10,000	4,500	6,000	4,000	97.88
増減率(%)	3.1	18.4	24.5	25.0	25.0

【通期セグメント別業績予想】

	単位：億円			
	売 上 高	営 業 利 益	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	2,140	275	2,040	245
デバイスソリューション事業	640	33	630	30
システムソリューション事業	570	57	580	60
事業別合計	3,350	365	3,250	335
その他	40	2	40	2
連結合計	3,280	245	3,180	290

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部資本の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上としております。

当期につきましては、本日公表しましたとおり、通期の連結業績予想が前回予想を上回る見通しであることから、当期の期末配当予想を前回予想から1株当たり20.0円増額し、90.0円に修正いたします。

これに伴い、当期の年間配当金は、実施済みの中間配当金60.0円と合わせて、1株当たり150.0円となります。

【配当予想】

基準日	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計(年間)
前回予想 (2025年11月11日公表)	-	70円00銭	130円00銭
今回修正予想	-	90円00銭	150円00銭
当期実績	60円00銭	-	-
前期実績 (2025年3月期)	45円00銭	55円00銭	100円00銭

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	39,429	55,088
受取手形、売掛金及び契約資産	41,374	51,220
棚卸資産	81,664	83,554
未収入金	3,697	3,387
その他	9,631	10,546
貸倒引当金	△1,614	△1,998
流动資産合計	174,183	201,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	83,290	85,186
機械装置及び運搬具	94,004	96,912
工具、器具及び備品	43,549	46,576
その他	16,736	19,533
減価償却累計額	△178,271	△188,647
土地	52,695	52,864
建設仮勘定	989	1,141
有形固定資産合計	112,995	113,567
無形固定資産		
のれん	6,375	6,467
その他	11,614	13,389
無形固定資産合計	17,989	19,856
投資その他の資産		
投資有価証券	53,123	50,009
繰延税金資産	2,151	2,240
その他	8,938	9,871
貸倒引当金	△146	△162
投資その他の資産合計	64,068	61,960
固定資産合計	195,053	195,384
資産合計	369,236	397,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,238	28,667
電子記録債務	5,609	6,957
短期借入金	50,547	48,851
1年内返済予定の長期借入金	23,065	29,877
未払金	11,997	12,658
未払法人税等	5,311	5,197
賞与引当金	5,865	3,994
その他の引当金	1,069	1,214
資産除去債務	502	472
その他	24,421	27,646
流動負債合計	149,628	165,537
固定負債		
長期借入金	33,996	27,291
繰延税金負債	5,335	5,582
再評価に係る繰延税金負債	3,720	3,720
その他の引当金	898	1,168
退職給付に係る負債	5,900	5,744
資産除去債務	609	654
その他	11,132	11,429
固定負債合計	61,592	55,591
負債合計	211,221	221,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,256	7,259
利益剰余金	98,164	113,740
自己株式	△1,381	△1,316
株主資本合計	114,039	129,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,711	11,790
繰延ヘッジ損益	△5	△61
土地再評価差額金	8,083	8,083
為替換算調整勘定	18,783	24,559
退職給付に係る調整累計額	359	188
その他の包括利益累計額合計	41,932	44,561
非支配株主持分	2,042	1,808
純資産合計	158,014	176,053
負債純資産合計	369,236	397,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	232,514	254,116
売上原価	126,536	135,535
売上総利益	105,977	118,580
販売費及び一般管理費	85,179	89,620
営業利益	20,798	28,959
営業外収益		
受取利息	369	403
受取配当金	911	844
持分法による投資利益	786	895
為替差益	—	1,026
その他	376	572
営業外収益合計	2,444	3,742
営業外費用		
支払利息	1,109	1,070
為替差損	280	—
その他	1,068	827
営業外費用合計	2,458	1,898
経常利益	20,784	30,803
特別利益		
固定資産売却益	816	561
会員権売却益	183	—
特別利益合計	999	561
特別損失		
減損損失	1,448	902
事業構造改善費用	181	273
災害による損失	144	—
特別損失合計	1,775	1,175
税金等調整前四半期純利益	20,009	30,189
法人税等	6,923	9,539
四半期純利益	13,086	20,650
非支配株主に帰属する四半期純利益	150	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,935	20,537

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,086	20,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,003	△2,921
繰延ヘッジ損益	△20	△55
為替換算調整勘定	3,356	5,632
退職給付に係る調整額	51	△191
持分法適用会社に対する持分相当額	685	315
その他の包括利益合計	6,076	2,780
四半期包括利益	19,162	23,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,915	23,166
非支配株主に係る四半期包括利益	246	263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

第1四半期より、連結財務情報のより適正な開示を図るため、決算日が連結決算日と異なっていた連結子会社のうち、SEIKO Precision (Thailand) Co., Ltd.の決算日を2月末日から12月末日に、Seiko Instruments (Thailand) Ltd.の決算日を1月末日から12月末日に変更し、いずれも連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。これらの変更により、当第3四半期は、2025年4月1日から2025年12月31日までの9か月間を連結しております。なお、当該連結子会社の決算期変更に伴う損益については利益剰余金に直接計上しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーショナルバリューソリューション事業	デバイスソリューション事業	システムソリューション事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	153,882	40,919	36,020	230,821	1,352	232,174	339	232,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,266	3,085	1,871	7,223	1,037	8,260	△8,260	—
計	156,148	44,004	37,892	238,045	2,390	240,435	△7,921	232,514
セグメント利益	21,965	1,719	3,203	26,889	209	27,098	△6,300	20,798

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額339百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△6,300百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等293百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△6,168百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

デバイスソリューション事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、前第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は1,448百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーショナルバリューソリューション事業	デバイスソリューション事業	システムソリューション事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	167,913	44,456	39,812	252,182	1,519	253,702	413	254,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,837	3,687	1,605	7,130	1,374	8,504	△8,504	—
計	169,751	48,144	41,417	259,313	2,893	262,207	△8,090	254,116
セグメント利益	27,177	3,003	3,757	33,938	183	34,122	△5,162	28,959

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額413百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△5,162百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等524百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△5,261百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セイコータイムクリエーション株のクロック販売事業をセイコーウオッチ株に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション株を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャクリエーション株を「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

デバイスソリューション事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は902百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	10,538百万円	10,564百万円
のれんの償却額	1,077百万円	1,096百万円